

地域活動支援センター(市内)

施設名 伊勢崎地域活動支援センター

定員

25 名

1.利用者の状況

(登録者の状況)

月	初日の登録者数		当月新規登録者数		退所者		月末の登録者数		備 考
	男	女	男	女	男子	女子	男子	女子	
4	48	35			3	2	45	33	
5	45	33					45	33	
6	45	33					45	33	
7	45	33		1			45	34	
8	45	34					45	34	
9	45	34					45	34	
10	45	34					45	34	
11	45	34					45	34	
12	45	34					45	34	
1	45	34					45	34	
2	45	34	3				48	34	
3	48	34					48	34	
計			3	1	3	2	48	34	
末日の登録者数							48	34	合計 82 名
割合(男女比)							59%	41%	

(1)新規利用者の状況

①利用前の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
	2						1	1			
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
10							1		1	0	
20									0	0	
30									0	0	
40	2							1	2	1	
50									0	0	
60以降									0	0	
計	2	0	0	0	0	0	1	1	3	1	

(2)退所者の状況

①利用後の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20				1				1	0	2	
30									1	0	
40	1								1	0	
50									0	0	
60以降	1								1	0	
計	2	0	0	1	0	0	1	1	3	2	

(市町村別登録者数)

市町村名	男	女	計	割合	備考
伊勢崎市	48	34	82		
計					

(年齢別)

年代	男	女	計	割合	備考
10	2	0	2	2%	※小数点以下切り捨て
20	4	1	5	6%	〃
30	2	10	12	14%	〃
40	15	13	28	32%	〃
50	13	3	16	18%	〃
60	9	4	13	15%	〃
70	2	3	5	6%	〃
80	1	0	1	1%	〃
計	48	34	82		

(診断別)

診断名	男	女	計	割合	備考
統合失調症	28	18	46	52%	
気分障害	6	5	11	13%	
強迫性障害		1	1	1%	
不安障害	2	2	4	5%	
てんかん	1		1	1%	
ストレス反応			0	0%	
心因性	1		1	1%	
知的障害	5	5	10	11%	
発達障害	4	1	5	6%	
境界性人格障害			0	0%	
高次脳機能障害	1		1	1%	
その他		2	2	2%	
計	48	34	82		

2.活動の状況(行事・レク等)

月	活動内容	活動場所	参加者
4			
5			
6	22日 防火避難訓練	伊勢崎地域活動支援センター・GHホーム浜志江	利用者9名、St.4名
7			
8	24日 消防自主訓練	ベルガモット食堂より火災	利用者7名、St.4名
9			
10			
11			
12	28日 防火避難訓練	伊勢崎地域活動支援センター・GHホーム浜志江	利用者7名、St.2名
1			
2			
3			

5. 職員研修

研 修 名	研修場所	参加者名
新型コロナウイルス感染症対策に係る動画配信 5/16	県障害政策課 / センターにて視聴参加	高山
統合失調症におけるIMRの実践 6/1	ヤンセンファーマー/各自宅、センターにて視聴参加	小暮・高橋・高山・池田・五十子
熱中症対策アドバイザー養成講座 6/10	大塚製薬 / センターにて視聴参加	高橋・池田・金井・五十子
自閉症スペクトラムの理解 10/19、11/16、12/21、1/8	発達障害者支援センター/ 県社会福祉総合センター	高山
虐待防止研修 11/24、12/1	オンライン	高山・池田
法人内研修 / 接遇について 11/29	センター交流室	高橋・高山・鈴木・池田・五十子
法人内研修 / 疾患・障害の理解「自閉症スペクトラム」 11/22	センター交流室	高橋・高山・池田・五十子
コロナ禍における認知症のケア せん妄の予防と治療 12/2	認知症疾患医療センター / センター交流室	高橋・池田

6. 課題と展望・評価

【評価】

- ・県内の警戒度の動向に合わせて活動を行い、ハッピータイムカフェや飲食を伴うイベントは休止が続いた。
- ・警戒度が下がったことによりR3.12にはクリスマス会、R4.4には花見を各グループ(少人数)での実施。
- ・ピアサポート活動の再開(ハッピータイムカフェ)。
- ・福祉大実習生の受け入れの再開。
- ・活動が減ったことにより、来所人数も減少した。
- ・交流室、廊下、事務所、送迎車などの消毒、換気、備品設置などコロナ対策を引き続き実施。

【課題と展望】

- ・プログラムの休止や縮小を重ねる中で活動が停滞気味となってきた。
- ・居場所としての活動、学びの場としての活動、仲間と過ごす活動等、色々な形の活動のありかたを検討していく。
- ・感染症の広がり動向を観察し、状況に合わせた形で活動を継続していけるよう努めていく。
- ・見学・体験で来所されても利用につながらない方が数名見られた。つながらなかった背景について、検討していくことが必要。
- ・送迎車のコースについて検討中。

(1) ひやりにっと	(有)	(無)	(件数	3	件)
(2) 事故	(有)	(無)	(件数	0	件)
(3) 事例					

- ①令和3年10月25日:事務所南側窓の閉め忘れがあった。
 (コロナ対策で換気していることが多い。当番2名で施設確認をしているが、残業者がいるとき、日よけカーテンで隠れているときに見察とした可能性がある。)
- ②令和3年12月16日:朝の送迎時、手指消毒と間違え、利用6名者の手に番煎しハイターを吹きかけてしまった。
- ③令和4年1月13日:送迎時用の消毒セットを持参し忘れた。

(4) 対応

- ①事務所内、人が入った形跡がないことの確認。ALSOKの夜間警報なしを確認。
- ②対象利用者6名、すぐに手指洗浄、健康状態の確認。全員に謝罪とご家族宛に報告・謝罪文をお渡した。
- ③乗車時、5名中、待参していた利用者2名のみ手指消毒をして乗車。

(5) 今後について

- ①正担当番は、然る職員に声をかける。最後に出る職員は、再度全施設確認、チェック表の記入をする。
- ②手指消毒用ボトルの空き容器にお釈ハイターが入っていたため、ボトルの使い回しはしない。
 消毒容器の目視確認、使用時の声出し確認をする。
- ③消毒セットを忘れない工夫。車の鍵を持つ前に消毒セットを持つ。
 持ち物の声出し確認をする。

令和3年4月～令和4年3月 実績報告書(案)

地域活動支援センター(市外)

施設名 伊勢崎地域活動支援センター

定員

25 名

1. 利用者の状況
(登録者の状況)

月	初日の登録者数		当月新規登録者数		退所者		月末の登録者数		備 考
	男	女	男	女	男子	女子	男子	女子	
4	29	15	1		1	5	29	10	
5	29	10					29	10	
6	29	10					29	10	
7	29	10					29	10	
8	29	10					29	10	
9	29	10					29	10	
10	29	10					29	10	
11	29	10					29	10	
12	29	10					29	10	
1	29	10					29	10	
2	29	10					29	10	
3	29	10	1				30	10	
計			2	0	1	5	30	10	
本日登録者数							30	10	合計 40 名
割合(男女比)							75%	25%	

(1) 新規利用者の状況

① 利用前の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
10									0	0	
20									0	0	
30	1								1	0	
40									0	0	
50									0	0	
60					1				1	0	
70									0	0	
計	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	

(2) 退所者の状況

① 利用後の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20									0	0	
30									0	0	
40		1	1	2				1	1	4	
50									0	0	
60		1							0	1	
計	0	2	1	2	0	0	0	1	1	5	

※()内は女性的人数

(市町村別登録者数)

市町村名	男	女	計	割合	備考
前橋市	10	5	15	34%	※小数点以下切り捨て
高崎市	3	1	4	9%	〃
桐生市	3	1	4	9%	〃
藤岡市	1	2	3	7%	〃
安中市	1		1	2%	〃
玉村町	7		7	16%	〃
太田市	3		3	7%	〃
館林市			0	0%	〃
沼田市	2		2	5%	〃
渋川市			0	0%	〃
千代田町		1	1	2%	〃
板倉町			0	0%	〃
南牧村			0	0%	〃
計	30	10	40		

(年齢別)

年代	男	女	計	割合	備考
10			0	0%	
20	2	1	3	7%	
30	7	1	8	18%	
40	5	4	9	20%	
50	8	1	9	20%	
60	7	3	10	23%	
70	1		1	2%	
計	30	10	40		

(診断別)

診断名	男	女	計	割合	備考
統合失調症	22	7	29	33%	
気分障害	1	1	2	2%	
強迫性障害			0	0%	
不安障害			0	0%	
てんかん		1	1	1%	
ストレス反応			0	0%	
心因性			0	0%	
知的障害	2	1	3	3%	
発達障害	3		3	3%	
境界性人格障害			0	0%	
高次脳機能障害	1		1	1%	
その他	1		1	1%	
計	30	10	40		

2.活動の状況(行事・レク等)

月	活動内容	活動場所	参加者
4			
5			
6	22日 防火避難訓練	伊勢崎地域活動支援センター・GHホーム波志江	利用者9名、St.4名
7			
8	24日 消防自主訓練	ベルカモット食堂より火災	利用者7名、St.4名
9			
10			
11			
12	28日 防火避難訓練	伊勢崎地域活動支援センター・GHホーム波志江	利用者7名、St.2名
1			
2			
3			

5. 職員研修

研 修 名	研修場所	参加者名
新型コロナウイルス感染症対策に係る動画配信 5/16	県障害政策課 / センターにて視聴参加	高山
統合失調症におけるIMRの実践 6/1	ヤンセンファーマー/各自宅、センターにて視聴参加	小暮・高橋・高山・池田・五十子
熱中症対策アドバイザー養成講座 6/10	大塚製薬 / センターにて視聴参加	高橋・池田・金井・五十子
自閉症スペクトラムの理解 10/19、11/16、12/21、1/8	発達障害者支援センター/ 県社会福祉総合センター	高山
虐待防止研修 11/24、12/1	オンライン	高山・池田
法人内研修 / 接遇について 11/29	センター交流室	高橋・高山・鈴木・池田・五十子
法人内研修 / 疾患・障害の理解「自閉症スペクトラム」 11/22	センター交流室	高橋・高山・池田・五十子
コロナ場における認知症のケア せん妄の予防と治療 12/2	認知症疾患医療センター / センター交流室	高橋・池田

6. 課題と展望・評価

【評価】

- ・県内の警戒度の動向に合わせて活動を行い、ハッピータイムカフェや飲食を伴うイベントは休止が続いた。
- ・警戒度が下がったことによりR3.12にはクリスマス会、R4.4には花見を各グループ(少人数)での実施。
- ・ピアサポート活動の再開(ハッピータイムカフェ)。
- ・福祉大実習生の受け入れの再開。
- ・活動が減ったことにより、来所人数も減少した。
- ・交流室、廊下、事務所、送迎車などの消毒、換気、備品設置などコロナ対策を引き続き実施。

【課題と展望】

- ・プログラムの休止や縮小を覚悟の中で活動が停滞気味となってきた。
- ・居場所としての活動、学びの場としての活動、仲間と過ごす活動等、色々な形の活動のありかたを検討していく。
- ・感染症の広がりの動向を観察し、状況に合わせた形で活動を継続していけるよう努めていく。
- ・見学・体験で来所されても利用につながらない方が数名見られた。つながらなかった背景について、検討していくことが必要。
- ・送迎車のコースについて検討中。

(1) ひやりはっと	(有)	(無)	(件数	3	件)
(2) 事故	(有)	(無)	(件数	0	件)
(3) 事例					

- ①令和3年10月25日：事務所南側窓の閉め忘れがあった。
(コロナ対策で換気していることが多い。当番2名で施設確認をしているが、残業者がいるとき、日よけカーテンで覆れているときに見落としの可能性がある。)
- ②令和3年12月16日：網の送迎時、手摺消毒と間違え、利用6名者の手に希釈ハイターを吹きかけてしまった。
- ③令和4年1月13日：送迎車用の消毒セットを待参し忘れた。

(4) 対応

- ①事務所内、人が入った形跡がないことの確認、ALSOXの夜間警報なしを確認。
- ②対象利用者6名、すぐに手摺洗浄、健康状態の確認。全員に謝罪とご家族宛に報告・謝罪文をお渡しした。
- ③乗車時、5名中、待参していた利用者2名のみ手摺消毒をして乗車。

(5) 今後について

- ①正當当番は、残る職員に声をかける。最後に出る職員は、再度全施設確認、チェック表の記入をする。
- ②手指消毒用ボトルの空きを察しに希釈ハイターが入っていたため、ボトルの使い回しはしない。
消毒容器の目視確認、使用時の声出し確認をする。
- ③消毒セットを忘れない工夫。車の鍵を持つ前に消毒セットを持つ。
持ち物の声出し確認をする。

地域活動支援センターⅢ型

施設名 地域活動支援センター 春

定員

15 名

1. 利用者の状況 (登録者の状況)

[illegible]

(1) 新規利用者の状況

①利用前の状況

[illegible]

(2) 退所者の状況

①利用後の状況

5. 年齢別の状況											
	入院		在宅		就労		その他		計		備考
性別	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
10											
20							1		1		
30											
40											
50							1		1		
60											
計							2		2		

※ () 内は女性の人数

(市町村別登録者数)

市町村名	男	女	計	割合	備考
伊勢崎市	8	8			
計	8	8	16		

(年齢別)

年代	男	女	計	割合	備考
10	0	0	0		
20	0	0	0		
30	1	3	4		
40	2	2	4		
50	4	2	6		
60	0	1	1		
70	1	0	1		
計	8	8	16		

(診断別)

診断名	男	女	計	割合	備考
統合失調症	5	6	11		
気分障害	1	1	2		
神経症					
非定型	1		1		
てんかん	1		1		
人格障害					
反応性					
その他		1	1		
計	8	8	16		

2. 活動の状況（行事・レク等）

月	活動内容	活動場所	参加者
6月22日	防火避難訓練	ハイツなかの合同	6名
7月1日	熱中症予防対策について	事業所内	7名
8月3日	感染症、食中毒予防対策について	事業所内	7名
12月28日	防火避難訓練	ハイツなかの合同	7名
2月28日	非常災害訓練	事業所内	4名

3. 職員研修

研 修 名	研修場所	参加者名

4. 課題と展望・評価

・関係機関と連携し、安定した通所が継続できるできるように、個別計画の充実を図る ・作業スペースの確保

伊勢崎市障害者基幹相談支援センター
指定相談支援事業所 楓
令和3年度 実績報告

	支援方法								
	電話	来所	訪問	電子メール	同行	知障通訳	個別支援会議	その他	計
4月	113	35	35	31	13	115	3	4	349
5月	81	23	27	13	11	76	1	2	234
6月	49	11	30	7	1	79	5	3	185
7月	111	24	39	11	6	111	1	0	303
8月	95	22	25	22	4	83	2	0	253
9月	104	21	30	41	6	90	0	2	294
10月	114	37	40	37	12	93	2	1	336
11月	131	25	40	31	9	126	1	0	363
12月	112	38	36	34	14	151	1	2	388
1月	119	13	30	34	6	131	4	3	340
2月	84	23	24	27	12	104	1	2	277
3月	113	26	23	30	10	134	5	3	344
計	1226	298	379	318	104	1293	26	22	3666

	支援内容別											
	福祉サービス利用	障害・病状の理解	健康・生活	不安の解消・安定	保育・教育	家族・人間関係	就労・経済	生活困窮	就労	福祉参加・余暇	権利擁護	その他
4月	164	0	33	110	2	30	4	1	16	1	0	2
5月	103	4	25	79	1	12	2	2	13	0	0	1
6月	109	7	15	28	2	13	1	3	12	2	0	0
7月	115	1	50	89	3	28	3	5	23	0	0	2
8月	89	3	23	121	1	24	6	5	9	0	1	1
9月	94	6	31	133	1	28	0	4	14	3	1	0
10月	105	4	24	158	4	23	8	10	18	3	0	3
11月	130	2	63	138	3	16	1	5	27	1	0	2
12月	133	7	78	134	8	30	3	0	8	3	0	3
1月	120	1	45	139	9	27	6	11	6	1	1	1
2月	96	8	34	107	13	12	6	11	7	4	0	4
3月	101	4	64	140	11	18	9	4	16	1	0	2
計	1359	47	485	##	58	261	49	61	169	19	3	21

障害種別

	身体	知的	精神	発達	高次脳	重心	児童	難病	その他	計
4月	7	36	206	61	0	0	24	0	0	334
5月	7	25	144	52	0	1	8	0	0	237
6月	1	21	124	29	0	0	8	0	0	183
7月	8	36	195	48	0	0	14	0	0	301
8月	8	48	145	90	0	0	6	0	2	299
9月	6	46	162	88	0	0	8	0	2	312
10月	16	57	185	109	2	0	5	0	3	377
11月	11	61	212	108	7	0	6	0	0	405
12月	20	60	198	121	3	0	4	0	0	406
1月	9	59	180	119	2	0	12	0	0	381
2月	6	47	148	100	4	0	11	0	0	316
3月	12	54	198	101	1	0	8	0	2	376
計	111	550	##	1026	19	1	114	0	9	3927

●自立支援協議会 開催状況

- ・全体会 年1回開催（書面開催）
- ・定例会 開催無し
- ・相談支援部会 月1回 第3金曜日に開催
- ・精神障害地域包括ケアシステム構築検討部会 年4回参加
- ・地域生活支援拠点等整備部会 年2回参加

●職員研修

日付	研修名	場所	参加者
6月24日	群馬県障害者虐待防止・権利擁護研修	オンライン	須田
8月5日	令和3年度引きこもり支援関係職員向けセミナー	オンライン	須田・小池
8月25日	県立伊勢崎特別支援学校職員向け研修	伊勢崎特別支援学校	小池（講師）
10月25日	令和3年度発達障害者支援者研修	オンライン	須田
12月9日	群馬県立精神医療センター 地域連携交流会	オンライン	小池・須田
12月14日	群馬県若年性認知症事例検討会	オンライン	小池
1月18日	親の会ネットワーク 伊勢崎市出前講座	障害者センター	小池（講師）
2月3日～5日間	相談支援従事者主任研修	オンライン	小池
3月18日	群馬県地域定着支援センター研修会	オンライン	小池

R3年度実績報告（案）

事業名 指定特定相談支援（計画相談）

1. 利用者状況

令和4年3月31日現在

月	計画作成		モニタリング		会議・訪問		計
	男	女	男	女	男	女	
4	4	3	24	6	2	4	43
5	8	5	19	7	4	3	46
6	6	6	25	13	3	2	54
7	11	11	19	6			47
8	12	3	16	11		2	44
9	4	9	8	13	3	1	38
10	9	5	16	6	2	5	43
11	10	2	17	10	1	3	43
12	5	4	23	14	2	3	51
1	11	3	20	16		3	53
2	7	7	17	12		1	44
3	6	4	12	11		5	37
計	91	62	216	125	17	32	543

市町村別

	計画作成		モニタリング		会議・訪問		計
	男	女	男	女	男	女	
伊勢崎市	56	50	158	102	11	28	405
前橋市	16	5	18	5	3	1	48
高崎市			4	3			7
太田市	6	1	6	1			14
桐生市	3	1	10	5			19
安中市	1		1				2
藤岡市		2		2			4
沼田市	1		4				5
渋川市	2		2		3		7
富岡市	1		4				5
玉村町	3	2	5	6		3	19
千代田町		1		1			2
大泉町	1		1				2
草津町			2				2
熊谷市	1		1				2
計	91	62	216	125	17	32	543

2. 会議

(2) 会議・その他

開催日	会議名	開催場所	参加者
4月28日	令和3年度 第1回相談支援部会	障害者センター 多目的室	鈴木
6月18日	伊勢崎市相談支援連絡部会（事例検討）	オンライン	高山
7月13日	令和3年度 第1回精神障害者地域包括ケアシステム構築検討部会	障害者センター 多目的室	鈴木
7月16日	相談支援連絡会	オンライン	高山

9月22日	令和3年度 第2回精神障害者地域包括ケアシステム構築検討会	障害者センター 多目的室	鈴木
10月22日	第1回 地域生活支援拠点等整備部会	障害者センター 多目的室	高山
2月8日	令和3年度 第4回精神障害者地域包括ケアシステム構築検討会	障害者センター 多目的室	鈴木
3月18日、31日	第2回 地域生活支援拠点等整備部会	書面会議	高山

3. 職員研修

(1) 施設内研修

研修名	研修場所	参加者
疾患・障害の理解「自閉症スペクトラム」	センター交流室	高山
接遇	センター交流室	高山・鈴木

(2) 施設外研修

研修名	研修場所	参加者
新型コロナウイルス感染症対策に係る動画配信	オンライン	高山
統合失調症におけるIMRの実践	オンライン	高山
自閉症スペクトラムの理解 全4回	発達障害者支援センター/県社会福祉総合センター	高山

4. 課題・評価

課題

・計画相談を始め、基本的に対面での支援なので、新型コロナウイルス等への感染症対策を徹底し、また相手にも理解と協力を求めている必要がある。

令和3年4月～令和4年3月 地域活動支援センターI型 相談状況報告書(概)

	電話相談	来所相談	訪問	延べ件数			電話相談	来所相談	訪問	延べ件数
					10月	夜間				
4月	夜間	312	5	317			291	8	2	301
	計	312	5	317			291	8	2	301
5月	夜間	345	4	351	11月	夜間	306	9	0	315
	計	345	4	351			306	9	0	315
6月	夜間	263	17	281	12月	夜間	305	9	0	314
	計	263	17	281			305	9	0	314
7月	夜間	286	15	301	1月	夜間	306	6	1	313
	計	286	15	301			306	6	1	313
8月	夜間	287	13	302	2月	夜間	243	10	3	256
	計	287	13	302			243	10	3	256
9月	夜間	233	16	251	3月	夜間	267	8	1	276
	計	233	16	251			267	8	1	276

	電話相談	来所相談	訪問	延べ件数
総計	夜間	3,444	120	3,578
	計	3,444	120	3,578

(1) ひやりはっと

(2) 事故

(3) 事例

(有) (有)

(件数) (件数)

(件) (件)

(4) 対応

(5) 今後について

令和3年4月～令和4年3月 地域活動支援センターI型 相談状況報告書(くるみ)

	電話相談	来所相談	訪問	延べ件数
平日昼間	1,048	203	100	1,351
土・日・祝	989	1,616	32	2,637
計	2,037	1,819	132	3,988

		電話相談	来所相談	訪問	延べ件数		電話相談	来所相談	訪問	延べ件数
4月	平日昼間	80	13	13	106	平日昼間	117	6	8	131
	土・日・祝	70	118	4	192	10月 土・日・祝	78	147	0	225
	計	150	131	17	298	計	195	153	8	356
5月	平日昼間	54	11	5	70	平日昼間	123	26	6	155
	土・日・祝	87	117	4	208	11月 土・日・祝	64	152	2	218
	計	141	128	9	278	計	187	178	8	373
6月	平日昼間	50	21	14	85	平日昼間	96	28	5	129
	土・日・祝	49	97	2	148	12月 土・日・祝	103	168	6	277
	計	99	118	16	233	計	199	196	11	406
7月	平日昼間	62	9	9	80	平日昼間	76	30	4	110
	土・日・祝	76	163	8	247	1月 土・日・祝	127	179	1	307
	計	138	172	17	327	計	203	209	5	417
8月	平日昼間	116	7	11	134	平日昼間	108	12	5	125
	土・日・祝	60	110	2	172	2月 土・日・祝	100	120	2	222
	計	176	117	13	306	計	208	132	7	347
9月	平日昼間	89	23	11	123	平日昼間	77	17	9	103
	土・日・祝	103	131	0	234	3月 土・日・祝	72	114	1	187
	計	192	154	11	357	計	149	131	10	290

(1) ひやりはっと (有) : 8 (無) (件数) (件数)
(2) 事故 (有) : 0 (無) (件数) (件数)
(3) 事例 (有) : 0 (無) (件数) (件数)

(4) 対応

(5) 今後について

施設名 伊勢崎市就労準備支援事業アイリス

1. 利用者の状況

(1)登録と利用状況

①登録数と利用数(述べ人数と実人数:述べ利用数は半日を1回単位とする)

	生活保護						生活困窮						述べ利用 数計	実利用数 計
	述べ利用数		実利用数		登録数		述べ利用数		実利用数		登録数			
月	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
10	23	0	23	0	3	0	9	6	9	6	1	1	38	38
11	25	0	25	0	3	0	5	6	5	6	1	1	36	36
12	27	0	27	0	3	0	4	2	4	2	1	1	33	33
1	25	5	25	5	3	1	1	1	1	1	1	1	32	32
2	26	7	26	7	3	1	1	5	1	5	1	1	39	39
3	31	5	31	5	3	1	5	5	5	5	1	1	46	46
計	157	17	157	17			25	25	25	25			224	224

②3月末住所別登録数

居住所	生活保護				生活困窮				備考
	男	期間	女	期間	男	期間	女	期間	
寿町	1								
三光町					1		1		
南千木町	1								
宮子町	1								
今泉町			1						

(2)新規利用者の状況

①利用前の状況(就労)

年代別	生活保護					生活困窮					備考
	就労経験無		就労経験有			就労経験無		就労経験有			
	男	女	男	女	離職期間	男	女	男	女	離職期間	
10							1				
20			1		1年						
20				1	6ヶ月						
30			1		13年	1					
40											
50			1		3年						
計	0	0	3	1		1	1	0	0		

②利用前の状況(同居・単身)

年代別	生活保護				生活困窮				備考
	同居		単身		同居		単身		
	男	女	男	女	男	女	男	女	
10						1			
20		1	1						
30			1		1				
40									
50			1						
計	0	1	3	0	1	1	0	0	

③-1利用時の主特性(生活保護)

	就職活動困難		就職定着困難		社会的孤立		精神的課題		障害(疑い)		対人交流苦手		能力の課題		その他	
年代別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
10																
20									1			1				
30					1											
40																
50	1															
計	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0

③-2利用時の主特性(生活困窮)

	就職活動困難		就職定着困難		社会的孤立		精神的課題		障害(疑い)		対人交流苦手		能力の課題		その他	
年代別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
10		1														
20																
30											1					
40																
50																
計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

(2)退所者の状況

なし

2. 活動状況

(1) 内容(半日・1回単位とする)

	日常生活自立支援	社会生活自立支援	就労自立	対話	その他
月	生活リズム・健康 家事・学び等	交流・WRAP SST・交流サロン等	パソコン・マナー・就労体験 職探し・ハローワーク	面接・個別学び 個別WRAP	打ち合わせ 情報交換等
10	13	0	20	4	1
11	5	0	22	7	2
12	5	0	21	9	2
1	6	0	10	11	2
2	5	0	10	17	1
3	5	0	20	13	3
計	39	0	103	61	11

(2) 場所(半日・1回単位とする)

月	明清会 活動合同	明清会 場の共有	明清会 個室	自宅 電話・メール	地域	その他 (連携)
10	16	4	1	6	6	5
11	19	3	1	7	2	4
12	18	3	3	7	4	2
1	3	7	1	10	4	2
2	5	5	2	15	4	1
3	12	8	1	11	5	3
計	73	30	9	56	25	17

3. 会議

(1) 施設内研修

開催日	研修名	研修場所	参加者名
11月22日	自閉症スペクトラム研修	地域活動支援センター交流室	池田恵理佳
11月29日	より良い支援のための接遇研修	地域活動支援センター交流室	池田恵理佳

(2) 施設外研修

開催日	研修名	研修場所	参加者名
11月30日	就労支援員・就労準備事業従事者養成研修	オンデマンド配信	池田恵理佳
12月1日	令和3年度群馬県障害者虐待・権利擁護研修	オンライン	池田恵理佳
12月8日-9日	令和3年度生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修	オンライン	池田恵理佳

【評価】

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の他、さまざまな背景を理由に利用控えが続いていたが、新しい利用者も増え、個別の活動ではあるものの、利用数は増加傾向にある。
- ・ 三密をさける、アルコール消毒、マスク、パーティション設置を行い新型コロナウイルス対策を行っている。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため社会福祉課の打ち合わせ会議が中止、個別で社会福祉課担当職員や他事業所と情報共有・情報交換を行っている。

【課題と展望】

- ・ 利用が途絶えている利用者へ継続的な丁寧な関わりが必要。活動場所を限定しない、その人にあつたいろいろな関わり方を行う。
- ・ 就労準備支援事業の周知を広く行う必要がある。
- ・ 一般就労後の定着支援。他事業所への移行時、各事業所への申し送り、関係機関との情報共有の徹底を行い、途切れない支援体制。
- ・ 地域活動支援センター、法人内事業所と協力していく。

令和3年度・四半期における障害者就業・生活支援センター事業
実施状況報告(四半期報告)

<集計対象期間: 令和3年4月~令和4年3月>

センター名 障がい者就業・生活支援センター メルシー (センター番号)

1. 該当四半期末時点の支援対象障害者数(登録者数) (人)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害					合計
		(うち重度)		(うち重度)			発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	
在職中	109	26	177	58	176	21	16	1	1	3	483
求職中	81	20	57	8	166	18	16	0	0	2	322
その他	9	4	41	9	56	5	2	2	0	1	111
合 計	199	50	275	75	398	44	34	3	1	6	916

2. 新規求職者数(当該四半期延べ人数) (人)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害					合計
		(うち重度)		(うち重度)			発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	
	22	2	28	2	72	11	9	0	0	2	133

3. 支援対象障害者に対する相談・支援件数 (件)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害					合計
		(うち重度)		(うち重度)			発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	
	359	38	970	226	2064	325	300	0	0	25	3718

注)直接本人・家族を支援するものに限る。他機関とのケース会議(本人不在)等の間接支援は含まない。

4. 職業準備訓練又は職場実習のあっせん状況 (件)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害					合計
		(うち重度)		(うち重度)			発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	
職業準備訓練	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	3
職場実習	10	0	15	6	32	9	8	0	0	1	66
合 計	10	0	16	6	33	10	9	0	0	1	69

5. 一般事業所への就職件数(1ヵ月以上の雇用) (件)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害					合計
		(うち重度)		(うち重度)			発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	
	9	3	23	5	45	9	8	0	0	1	86

注)週労働時間数は問わない

6. 職場訪問による職場定着支援の実施件数

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害					合計
		(うち重度)		(うち重度)			発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	
	10	3	127	40	91	20	18	0	0	2	248

事業の実績

実 施 時 期	事業の具体的内容	参加人数	活動場所
令和3年4月 ～ 令和4年3月	1. 週末活動周知 関係機関訪問 伊勢崎市役所障害福祉課 特別支援校 社会福祉協議会 公民館・緋の郷 就労移行事業所 就労継続B型事業所 就労支援協議会 自立支援協議会定例会 知的障害者親の会 2. 内容 4月24日(土)ウォーキング 5月15日(土) コロナのため中止 6月12日(土) コロナのため中止 7月10日(土)ウォーキング 8月21日(土) コロナのため中止 9月11日(土) コロナのため中止 10月30日(土)ウォーキング 11月27日(土)ウォーキング 12月18日(土)年賀状づくり 1月15日(土)書初め 2・3月はコロナウィルスのため中止	6名 6名 4名 6名 5名 4名 合計31名	伊勢崎市 障害者センター

令和 3 年度生活実績
事業の実績

実 施 時 期	事業の具体的内容 及び実施方法	備 考 (相談指導件数)
令和 3 年年 4 月 ～ 令和 4 年 3 月	1. 日常生活上の自己管理に関する助言 (1) 生活習慣の形成 ・職業生活を継続する上で必要な生活習慣の形成 ・社会生活を営む上で基本的なマナーの習得 (2)健康管理 健康診断の確認、内容説明 通院・悪化時の受診の同行 服薬管理・食事指導等 (3)金銭管理 うまくお金が使えない、お金を使いすぎてしまうなどの相談に応じ、金銭管理支援を実施、買い物支援 (4)関係機関との連携 必要に応じて保険医療機関との連携 相談生活支援センターとの連携 生活支援サービス利用の支援を実施 2. 地域生活・生活設計に関する助言 (1) 住居の確保等の支援 (2) 障害年金の申請支援 (3) 活用できる福祉サービスの利用調整 (4) 余暇活動の支援 (5) 交通機関利用等の支援・助言 交通ルール・マナーの習得	個別支援 面接 59 人 電話相談 145 人 家庭訪問 5 人 職場訪問 85 人 他機関訪問 33 人 集団指導 定着支援時のグループワーク 4/24 6 人 7/10 4 人 10/30 4 人 11/5 4 人 11/13 4 人 11/27 6 人 12/17 3 人 12/18 5 人 1/5 4 人 5・6 8・9・2・3 新型コロナウィルスのため中止 合計 42 余暇支援 25 人 金銭管理 5 名 年金相談 9 名 住宅相談 2 名 通勤通所移動支援 2 名

令和3年度 実績報告書
就労移行支援・就労継続型支援事業・就労定着支援事業

施設名 バルカモット・バルファン

定員 就労継続支援B型事業 40 名

1. 利用者の状況

(登録者の状況)

0=非表示

	初日の登録者数		新規利用者		退所者		月末の登録者数		備考		
	継続B		継続B		継続B		継続B			新規利用	退所
月	男	女	男	女	男	女	男	女	計		
4	32	21	4	1			35	22	57	4月1日 1名 4月2日 1名 4月6日 1名 4月21日 2名	
5	35	23		1	2	1	34	22	56	5月20日 1名 5月19日 2名 5月31日 1名	
6	33	22	2	2	2	2	33	22	55	5月7日 1名 5月8日 1名 6月22日 1名 6月23日 1名	6月22日 1名 6月24日 1名 6月25日 2名
7	34	22	1		2		32	22	54	7月1日 1名 7月19日 1名 7月26日 1名	
8	32	22	1				33	22	55	8月2日 1名	
9	33	22	1		1		34	22	56	9月3日 1名 9月30日 1名	
10	33	22					33	22	55		
11	33	23	1	1	2		32	23	55	11月2日 1名 11月11日 1名	11月2日 2名
12	32	23			1		31	23	54		1月22日 1名
1	31	23	1				32	23	55	1月6日 1名	
2	32	23					32	23	55		
3	32	23		1		1	32	23	55	3月10日 1名 3月15日 1名	
計	392	267	11	6	10	4	393	269	662		
割合											

(1) 新規利用者の状況

①利用前の状況 継続新規利用者 17名

性別	入院		在宅		就労		その他		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
年代別										
10									0	0
20				1	2			1	2	2
30				1			2		2	1
40				1	1			2	1	3
50			1				2		3	0
60			1		1				2	0
70			1						1	0
計	0	0	3	3	4	0	4	3	11	6

(2) 退所者の状況

①利用後の状況

継続退所者 14名

性別	入院		在宅		就労		その他		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
年代別										
10									0	0
20					1		1	1	2	1
30			2	1	1				3	1
40	1			1					1	1
50			2						2	0
60					1		1		2	0
70				1					0	1
計	1	0	4	3	3	0	2	1	10	4

市町村別登録者数

市町村名			計	割合	備考
	男	女			
伊勢崎市	19	13	32	58%	
前橋市	6	3	9	16%	
太田市	3	1	4	7%	
桐生市	1	3	4	7%	
高崎市	1	2	3	5%	
千代田町		1	1	2%	
玉村町	2		2	4%	
県外			0	0%	
その他			0	0%	
計	22	23	55	100%	

年齢別

年代			計	割合	備考
	男	女			
10	2	1	3	5%	
20	3	6	9	16%	
30	4	4	8	15%	
40	12	8	20	36%	
50	7	2	9	16%	
60	3	1	4	7%	
70	1	1	2	4%	
計	32	23	55	100%	

診断別

診断名			計	割合	備考
	男	女			
統合失調症	20	10	30	55%	
気分障害	1	3	4	7%	
適応障害			0	0%	
摂食障害			0	0%	
高次脳機能障害	1		1	2%	
人格障害			0	0%	
発達障害	3	3	6	11%	
知的障害	4	3	7	13%	
その他	3	4	7	13%	
計	32	23	55	100%	

2. 活動の状況（行事・レク等）

月	活動内容		日時	活動場所	参加者
10	レク活動	渡志江沼&バルファンお茶ツアー	10月14日	渡志江沼公園・区歳センター	メンバー4名

3. 職員研修

研 修 名	研修場所	参加者名
「継続」		
施設におけるリスク管理と苦情対応 4月	ベルガモット	後藤柚香
食中毒・熱中症研修 5月26日	ベルガモット	根岸宏治、武井あゆみ、後藤柚香、前田直樹、小島英子、木村美果、宮森昭至、登丸英則、谷津夏代
第1回事例検討会 事故・ヒヤリハット再発防止、ニ 6月1日 コロナ禍取り組み	ベルガモット	根岸宏治、武井あゆみ、後藤柚香、前田直樹、小島英子、木村美果、松本誠、宮森昭至、齋木明美、鍋木千穂、谷津夏代
令和3年度精神保健福祉初任者研修 6月11日～6月22日	ベルガモット	後藤柚香
相談支援従事者初任者研修(基礎課程) 6月18日～6月30日	ベルガモット	木村美果
第1回法人内研修 法人概要 6月	ベルガモット	宮森昭至、小島英子、登丸英則、松本誠、亀井小夜子、武井あゆみ、後藤柚香、鍋木千穂、根岸宏治、前田直樹、木村美果、齋木明美、谷津夏代
第2回法人内研修 感染経路対策 9月	ベルガモット	宮森昭至、小島英子、松本誠、亀井小夜子、武井あゆみ、後藤柚香、鍋木千穂、根岸宏治、前田直樹、木村美果、齋木明美、谷津夏代
食品衛生責任者研修 9月2日	伊勢崎市文化会館	木村美果
第3回法人内研修 接遇研修 10月	ベルガモット	武井あゆみ、後藤柚香、小島英子、根岸宏治、松本誠、前田直樹、亀井小夜子、木村美果、鍋木千穂、宮森昭至、谷津夏代
第4回法人内研修 基本的な疾患およびメンタル疾患 11月の理解	ベルガモット	亀井小夜子、木村美果、後藤柚香、松本誠、宮森昭至、根岸宏治、齋木明美、小林一樹、前田直樹、谷津夏代
第2回事例検討会 就労継続支援B型について 11月	ベルガモット	武井あゆみ、鍋木千穂、宮森昭至、木村美果、根岸宏治、後藤柚香、小島英子、前田直樹、齋木明美、谷津夏代
第5回法人内研修 障害者虐待研修 12月	ベルガモット	木村美果、根岸宏治、鍋木千穂、宮森昭至、亀井小夜子、松本誠、後藤柚香、齋木明美、谷津夏代
令和3年度就業支援実践研修 12月3日	群馬障害者職業センター	谷津夏代
ノロウイルス・インフルエンザ研修 12月14日	ベルガモット	前田直樹、根岸宏治、松本誠、宮森昭至、武井あゆみ、亀井小夜子、木村美果、小林一樹、谷津夏代
第6回法人内研修 感染症対策 1月	ベルガモット	松本誠、木村美果、宮森昭至、後藤柚香、谷津夏代
令和3年度障害者施設等の感染症対策研修 1月	ベルガモット	鍋木千穂、武井あゆみ、根岸宏治、前田直樹、宮森昭至、亀井小夜子、松本誠、鍋木千穂、齋木明美、木村美果、後藤柚香、谷津夏代
エルダーメンター研修 1月13日	パセリ相談室	後藤柚香、小林一樹
令和3年度就労支援事業所に係る説明会（果樹指導）の実施 2月	ベルガモット	武井あゆみ、後藤柚香、齋木明美、谷津夏代
第3回事例検討会 コロナウイルス 2月16日	ベルガモット	小島英子、後藤柚香、前田直樹、宮森昭至、根岸宏治、鍋木千穂、木村美果、齋木明美、武井あゆみ、谷津夏代
第7回法人内研修 苦情解決研修 3月	ベルガモット	鍋木千穂、亀井小夜子
第8回法人内研修 成年後見制度研修 3月	ベルガモット	根岸宏治、鍋木千穂、亀井小夜子、齋木明美、後藤柚香、松本誠、谷津夏代

【サビ管】			
食中泊・熱中症研修	5月26日	ベルガモット	齋藤照代
第1回法人内研修 法人概要	6月	ベルガモット	齋藤照代
第2回法人内研修 感染症対策	9月	ベルガモット	齋藤照代
第3回法人内研修 派遣研修	10月	ベルガモット	齋藤照代
第4回法人内研修 基本的な疾患およびメンタル疾患 11月の開催	11月	ベルガモット	齋藤照代
第5回法人内研修 障害者虐待研修	12月	ベルガモット	齋藤照代
ノロウイルス・インフルエンザ研 修	12月14日	ベルガモット	齋藤照代
第6回法人内研修 医療観察	1月	ベルガモット	齋藤照代
障害福祉サービス事業所等におけ る自然災害発生時の業務継続計画 (BCP) 作成支援に関する研修	1月10日	ベルガモット	齋藤照代
令和3年度就労支援事業所に係る 説明会（集団指導等）の実施	2月	ベルガモット	齋藤照代
第8回法人内研修 成年後見制度研修	3月	ベルガモット	齋藤照代

4. 工賃

	ベルガモット	パルファン
4月	380	460
5月	400	380
6月	400	420
7月	400	450
8月	440	460
9月	440	450
10月	400	420
11月	400	420
12月	400	400
1月	360	460
2月	360	400
3月	340	400
平均	407	433

【課題と展望】
新型コロナウイルス等の感染症対策等を行い感染予防を継続して周知徹底する。
利用者定員・・・令和3年度就労継続支援B型事業定員を40名となり、迎所率を72％である。 新規利用者17名（ベルガモット13名、パルファン4名） 退所者14名（ベルガモット12名、パルファン2名） 定員増加（ベルガモット1名、パルファン2名） 継続して新規利用者の受け入れをしていく。 就業者2名/年間を目標とする。
工賃・・・令和3年度目標平均工賃12,339円、原材料費等の値上げにより利益が減っている。R2年～3年、利用者作業時間160時 間/月 増加しているため時給が下がっている。R4年6月分当の値上げを検討している。
虐待防止・・・虐待研修・チェックリスト等を行い虐待を未然に防げるようにする。
職員の資質向上・・・職員の研修（ライブ研修）や事例検討等の参加率が向上して意識向上してきている。 職員の研修参加の質を改善し、職員の資質向上のための研修計画に沿った研修を行い職員の能力向 上する。 園芸・軽作業の非常勤各1名増員をしたが、調理の非常勤の求人は出しているが応募が無く増員が出来 ていないため、調理員の負担の軽減が出来ていない。職員の精神的な負担がありイライラしてしまうことがある。
スタッフミーティング・・・スタッフミーティングを行い、情報の共有をして職員間の支援方針や工賃向上やコミュニケー ションを円滑にできるようにしていく。
工賃向上・・・営業用のチラシ作りをして弁当の営業をしていく。1食より単居者等の見守り等をして、配達可能な東・赤堀 地区の営業をする。新しいメニューの開発・味の固定が課題である。地域ニーズに合った、弁当等の受注拡大ができるよう にしていく。
園芸・・・さくらの委託農業に参加して業務委託費で農業収入をアップする。火曜日は波志江沼公園清掃に参加していく。
パルファン・・・利用者の増員が課題である。群馬県立精神医療センターの入院患者の減少により売り上げが減少している。 季節や新しいメニューを企画して一人の客単価を上げていく。空き時間を利用して、クッキーを作り売り上げを作る。

令和3年度 実績報告書

就労継続支援B型事業

施設名 ガーデントタイム

定員

20 名

1. 利用者の状況
(登録者の状況)

	初日の登録者数		新規利用者		退所者		月末の登録者数		備 考
月	男	女	男	女	男	女	男	女	
4	15	31	1				16	31	
5	16	31		1			16	32	
6	16	32	1			2	17	30	定員20名化
7	17	30					17	30	
8	17	30					17	30	
9	17	30				1	17	30	末日付退所者1名
10	17	29			1		16	29	
11	16	29					16	29	
12	16	29					15	29	
1	15	29					15	29	
2	15	29					15	29	
3	15	29				1	15	29	末日付退所者1名
計	192	358	2	1	1	4	192	357	
3月末日の登録者数							15	29	
割合									

(1) 新規利用者の状況

①利用前の状況

新規利用者 3 名 (上半期 3 名 下半期 0 名)

	入院		在宅		就労		その他		計		備考
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	0	0	2	1	0	0	0	0	2	1	
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		
10									0	0	
20				1					0	1	
30									0	0	
40			2						2	0	
50									0	0	
60									0	0	
70									0	0	
計	0	0	2	1	0	0	0	0	2	1	

(2) 退所者の状況

①利用後の状況

退所者 5 名 (上半期 3 名 下半期 2 名)

	入院		在宅		就労		その他		計		備考
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	0	0	0	2	1	1	0	1	1	4	
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		
20						1			0	1	
30				2	1				1	2	
40							1		0	1	
50									0	0	
60									0	0	
計	0	0	0	2	1	1	0	1	1	4	

(市町村別登録者数)

市町村名	男	女	計	割合	備考
前橋市	8	15	23	52.3%	
伊勢崎市	6	13	19	43.2%	
安中市	1	0	1	2.3%	
中之条町	0	1	1	2.3%	
計	15	29	44	100%	

(年齢別)

年代	男	女	計	割合	備考
10	0	0	0	0.0%	
20	2	7	9	20.5%	
30	2	7	9	20.5%	
40	6	7	13	29.5%	
50	3	5	8	18.2%	
60	1	2	3	6.8%	
70～	1	1	2	4.5%	
計	15	29	44	100%	

(診断別)

診断名	男	女	計	割合	備考
統合失調症	10	11	21	47.7%	従たる障害は含まない
統合失調感情障害	0	2	2	4.5%	
気分障害	1	7	8	18.2%	
非定型精神病	0	2	2	4.5%	
摂食障害	0	2	2	4.5%	
知的障害	2	3	5	11.4%	
広汎性発達障害	2	2	4	9.1%	
その他	0	0	0	0.0%	
計	15	29	44	100%	

2. 活動の状況（行事・レク等）

月	活動内容	活動場所	参加者
4			
5			
6	事例検討	ガーデンタイム	スタッフ
	新入職員研修（法人）	（動画配信・資料配布）	山崎、須田
	食中毒・熱中症予防研修	ガーデンタイム	スタッフ、メンバー
7			
8			
9	消防訓練	ガーデンタイム	スタッフ、メンバー
	接遇研修（法人）	（動画配信）	各スタッフ
	新型コロナウイルス感染症対策（法人）	（動画配信）	各スタッフ
	事例検討	ガーデンタイム	スタッフ 7名
10	ヤマト福祉財団助成金贈呈式	オンライン	齋藤
11	感染症対策実践研修（インフル・ノロ）	ガーデンタイム	
	法人内研修『障害者虐待防止』	（動画配信）	全スタッフ
12	法人内研修『医療観察法について』	（動画配信）	全スタッフ
	事例検討	ガーデンタイム	スタッフ 7名
1	臨時研修 ①福祉サービス苦情解決セミナーより動画 ②ケース検討	ガーデンタイム内	全スタッフ
2	障害者虐待防止について	ガーデンタイム内	スタッフ 8名
	虐待チェックリスト	ガーデンタイム内	全スタッフ
	消防訓練	ガーデンタイム内	スタッフ、メンバー
3	防犯訓練	ガーデンタイム内	スタッフ、メンバー

5. 職員研修

外部研修

研 修 名	研修場所	参加者名
新型コロナ感染予防及び感染時の対応について	ガーデンタイム事務所	スタッフ7名
工賃向上フォーラム2021inとっとり	オンライン	齋藤 他
研修映像 『オーバードーズがやめられない若者たち』(NHK)	（資料映像）	各スタッフ
研修映像 他事業所紹介 『スタディーツアーat工房まる(福岡)』	（資料映像）	各スタッフ
新型コロナ感染予防及び感染時の対応について	ガーデンタイム事務所	スタッフ6名
食品衛生責任者 実務者研修	伊勢崎文化会館	入澤
食品衛生責任者 実務者研修	前橋デルザ	齋藤

6. 工賃（時給）

月	ガーデンタイム				ミーナ	
	時給	施設外時給	屋外作業手当	月額	時給	月額
4	250	260	260	370	370	370
5	250	260	260	380	380	380
6	250	260	260	390	390	390
7	250	260	0	380	380	380
8	240	250	0	370	370	370
9	250	260	0	380	380	380
10	250	260	0	400	400	400
11	250	260	0	400	400	400
12	250	260	0	420	420	420
1	250	260	0	400	400	400
2	250	260	0	380	380	380
3	260	270	0	390	390	390
平均時給	¥264.0					
平均月額	¥11,158					

※県実績報告値（月の中途での入退所者を除く）

7. 評価・課題と展望

〔①評価 ②課題と展望〕

利用率

①6月より、利用定員を20名に変更。、1日あたり22.4名／稼働率112.2%。

②変動はあるものの、稼働率は100%前後を維持できる見込み。空き待ちの方もいるため、退所者が出次第、新規受け入れをすすめ、且つ施設外就労参加利用者を増やすことを目指す。

工賃

①平均時給264円（前年度比＋約5円）、平均工賃月額11158円（前年度比＋約36円）となった。minaを除外すると、平均時給248円／平均工賃月額10870円であった。

ベーカリーは出張・イベント・予約等の新たな販路開拓を継続しながら、デザイナーやラーメン店など他業種と提携した餃子パンや野菜クッキー等新たな商品開発を進めた。また、従来の焼き菓子、利用者の絵を集めてあしらったギフトセット化した『宇宙スイーツギフトセット』も、デザインプロジェクトの想造楽工とのコラボも行った。

受託部門は、農業の出荷補助の仕事を縮小し、その分、新たに開始した関根昆布の委託業務が売上を伸ばした。ラージェスト、関根昆布、その他の仕事がバランスよく行っている。

minaでは独自企画を月1～2本実施することで集客を作り、前年度比＋約969,000円（125%）の売上上昇。全体の工賃水準引き上げに貢献した。また、ガーデンタイムの製品を販売、配布することで、ガーデンタイムの売上増も図った。

②これまでのところ、工賃の支払いに貯蓄・施設会計からの補填が時折必要となっている。また、農業全体の計画変更により、農業関連の収入減の見込みとなる。販路の更なる開拓、新商品展開による販路開拓、売上、等の対策をとり、売上アップを図っていく。ECサイト等を活用した販売形態の追加を進める。

支援

①コロナ禍にあっても、個別的な就職活動のサポート等により、就職者2名、年度内6ヶ月定着者1名を出した。

②スタッフの減少に伴い、今後はさらに効率のよいスタッフの役割分担等で対応していく必要あり。また、パートスタッフの募集を継続する。

その他

・感染拡大防止の観点から、衛生管理の徹底、作業内容の変更等の対策を講じてきた。関係者を含め、感染力の強い疾患の罹患者は出さずに住んでいる。今後も予防対策及び注意喚起を継続していく。

・年度内の就労定着6ヶ月定着者は1名とり、新年度の報酬が減少し、年間で約401,000点近くの減収となる見込み。今後も就労者を出し続け、且つ長期に定着することができるよう支援を継続していくことが望ましい。

1. 利用者の状況

(登録者の状況)

0=非表示

	初日の登録者数		新規利用者数		退所者		月末の登録者数			備 考
	継続B		継続B		継続B		継続B			
月	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
4	17	15					17	15	32	
5	17	15		1	1		15	16	32	
6	18	16					15	16	32	
7	16	16	1	1			17	17	34	
8	17	17				1	17	16	33	
9	17	16	1				18	16	34	
10	18	16			1	1	17	15	32	
11	17	15					17	15	32	
12	17	15					17	15	32	
1	17	15	1				18	15	33	
2	18	15					18	15	33	
3	18	15					18	15	33	
計			3	2	1	1				
3月末日の登録者数							18	15	33	
割合										

(1) 新規利用者の状況

①利用前の状況

継続新規利用者 4名

	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	継続B		継続D		継続B		継続B		継続B		
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
年代別											
10											
20							1		1		G11 (ソーシャルワーク)
30											
40											
50											
60											
計							1		1		

(2) 退所者の状況

①利用後の状況

継続退所者2名

	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	継続B		継続B		継続B		継続B		継続B		
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
年代別											
10											
20								1		1	
30											
40					1				1		
50											
60											
70											
計	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	

市町別登録者数

市町村名	継続B		計	割合	備考
	男	女			
伊勢崎市	14	13	27	82%	
龍崎町	2		2	6%	
太田市			0	0%	
桐生市			0	0%	
高橋市			0	0%	
富岡市	1		1	3%	
みどり市		2	2	6%	
藤岡市	1		1	3%	
計	16	15	33	100%	

年齢別

年代	継続B		計	割合	備考
	男	女			
10	1	1	2	6%	
20	4	3	7	21%	
30	2	1	3	9%	
40	2	3	5	15%	
50	4	6	10	30%	
60	5	1	6	18%	
70	0	0	0	0%	
計	18	15	33	100%	

診断別

診断名	継続B		計	割合	備考
	男	女			
統合失調症	0	3	3	9%	
気分障害	1	3	4	12%	
適応障害			0	0%	
摂食障害			0	0%	
高次脳機能障害			0	0%	
人格障害			0	0%	
発達障害	1		1	3%	
加齢障害	6	5	10	30%	
その他	2	4	6	18%	てんかん・精神遅滞・双極性障害・躁うつ障害・双極性障害
計	18	15	33	100%	

2. 活動の状況（研修・行事・レク等）

月	活動内容	活動場所	参加者
6月	ミーティング メンバーミーティング 6月22日	作業内容、レクリエーション、衛生面の注意	利用者12名職員3名
7月	レクリエーション バルファン喫茶ツアー 7月13日	バルファン	利用者5名職員1名
8月	ミーティング メンバーミーティング 8月10日	作業時間短縮についての説明等	利用者15名職員3名
9月	ミーティング スタッフミーティング 9月21日	オリーブ第1回事務検討	杉田 坂谷 宮根 黒澤 松前 加藤
9月	ミーティング メンバーミーティング 9月27日	コロナウイルス感染予防について、消毒当番	利用者16名職員3名
10月	訓練 消防訓練 10月26日	火災自主訓練 通報 避難 消火	利用者12名職員5名
10月	研修 非常災害研修 10月26日	オリーブ作業室	#
11月	研修 防災研修 11月23日	オリーブ作業室	利用者15名職員3名
11月	研修 感染症予防研修 11月23日	オリーブ作業室	利用者15名職員2名
1月	ミーティング メンバーミーティング 1月4日	自己紹介・レクリエーション・困っていること等	利用者16名職員3名
2月	ミーティング メンバーミーティング 2月17日	コロナウイルス感染予防・レクリエーションについて	利用者17名職員4名
3月	訓練 消防訓練 10月25日	火災自主訓練 通報 避難 消火	利用者18名職員5名

3. 職員研修

研 修 名	研修場所	参加者名
熱中症・食中毒予防研修 5月	オリーブ	利用者14名 職員3名
新型コロナウイルス感染症予防研修 9月7、8日	オリーブ	塩谷 曾根 黒澤 松浦 加藤 森源
経過研修 9月28日29日 10月7日	オリーブ	杉田 塩谷 曾根 黒澤 松浦 加藤
職業能力評価表・虐待チェックリスト配布 8月	オリーブ	職員全員
職業能力評価表・虐待チェックリスト提出 9月	オリーブ	職員全員
自衛防の理解	オリーブ	杉田 塩谷 曾根 黒澤 松浦 加藤
感染症虐待防止について	オリーブ	杉田 塩谷 曾根 黒澤 松浦 加藤
施設観察について	オリーブ	塩谷 中村 松浦 加藤
コロナ禍における資材解決	オリーブ	塩谷 曾根 松浦
事例検討会	オリーブ	杉田 塩谷 曾根 松浦 加藤
事例検討会	オリーブ	杉田 塩谷 曾根 松浦 加藤
事例検討会	オリーブ	杉田 塩谷 曾根 松浦 加藤 中村

4. 工賃

	時給	外作業	渡志江留	平均工賃
4月	280	400	400	12,214
5月	260		400	10,865
6月	260		400	12,003
7月	260		400	11,811
8月	260		400	9,101
9月	260		400	7,819
10月	260		400	8,426
11月	270		400	8,652
12月	260		400	8,560
1月	350			10,272
2月	370			8,701
3月	360		400	11,944
平均	260	400	400	10,010

5. 評価・課題と展望

【評価】
・就労継続支援B型事業 平均利用者 18、1名/月 延べ利用者数 4、496人 開所日 248日
・令和3年度工賃実績（4月～3月） 収入3、477、637円 内自立支援給付費からの補填1、340、000円
・平均工賃額 10、010円/月
・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、契約企業からの受注量の減収による売上減少のため、給付費からの工賃補填を行わざるをえない状況となった。
【課題と展望】
利用者定員・・・ 令和3年度3月末時点で登録者83名、利用者平均1日18.1名。 利用者の希望に添えるよう、送迎便の検討を行っている。利用者の個々の実情に即した支援を構築。 令和3年度末までに利用者平均1日「18人」90%を目標とし達成。 契約企業からの受注量減少のため、作業時間の短縮を行い6月16日（月）より午前2、3時間、午後2時間つづれかを選んで頂く。 利用者は伊勢崎市内の方が多く地域に根差して順調に増加し定着している。 今後も感染予防を徹底し、利用者のニーズに合った作業を提供、生活支援・就労支援を行ってきたい。 午後の時間を活用し、自立支援、生活支援にも力を注ぎ、利用者の必要とする様々な要望に寄り添えるよう活動していく。 このような活動を進めていき、令和4年度からの作業時間の見直しを含む、オリーブ型の新しい形を模索していく必要がある。
虐待防止・・・虐待研修・チェックリスト等を持って虐待を未然に防ぐようにする。
職員の資質向上・・・感染症対策のため外部研修はなくなったが、事業所内にて職員の資質向上のため研修を行った。 明細書の職員の行動履歴や管理時間や年度や指導者総合評価法の理解を促進した。 事例検討を行いながら、利用者支援を向上していくと共に、作業現場での個々への対応を検討した。
新型コロナウイルス感染症拡大対応・・・三密を避ける対策として、室内換気、2メートルの距離、消毒、マスク着用、手洗いがいの奨励、 清掃時における消毒、自宅での過ごし方、外出の方法等メンバーミーティング等において周知徹底行う。 朝通所時、玄関にて検温、記録確認。 本人及び同居者の体調管理、陽性者又は濃厚接触者発生時の対応確認。
作業内容・・・これまでの農業中心から企業との委託契約による室内作業への転換を図る。 3月よりキャスター部品組組、圧着、検品、袋詰め、納品行ってきた。 8月より企業からのキャスター組立発注が突然なくなる。 このため、8月16日より作業を午前又は午後のいずれかとした。9月、10月も注文が入らない状態が続く。 9月前橋市内の企業より、昆布の検品、袋詰め注文が入る。作業内容をキャスターから昆布へとシフトしていく。 利用者への説明を何度も行いながら、作業を組立、各々に適した作業内容を提案する。
目標工賃達成に伴う売上アップ・・・職員一人一人が工賃向上の必要性を理解して、売り上げアップへの意識付けを行う。 農業以外の作業を開発（宇都宮産果、関根昆布、胸ジューキ等）近隣企業への営業を行う。 法人内との契約を検討中。令和4年度上半期を目標に、室内作業と委託作業を併用し給付費からの補填を無くしていく。

令和3年度 実績報告書

就労継続支援A型・就労継続支援B型

施設名 マザーリーフ

就労継続支援A型 10 名
就労継続支援B型 10 名
20 名

1. 利用者の状況

(登録者の状況)

0=非表示

月	初日の登録者数				新規利用者				退所者				月末の登録者数					備考
	継続A		継続B		継続A		継続B		継続A		継続B		継続A		継続B			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
4	6	0	14	1	1						1		7	0	13	1	21	
5	7	0	13	1							2		7	0	11	1	19	
6	7	0	11	1	1								8	0	11	1	20	
7	8	0	11	1									8	0	11	1	20	
8	8	0	11	1			2						8	0	13	1	22	
9	8	0	13	1					2				6	0	13	1	20	
10	5	0	13	1			2		1				4	0	15	1	20	
11	6	0	15	1	1								7	0	16	1	23	
12	6	0	15	1						1			6	0	14	1	21	
1	6	0	14	1									6	0	14	1	21	
2	6	0	14	1				1					6	0	14	2	22	
3	6	0	14	2									6	0	14	2	22	
計					3	0	4	1	3	0	4	0						
5月末日の登録者数													6	0	14	2	22	
割合																		

(1) 新規利用者の状況

①利用前の状況

A型新規利用者

3 名

B型新規利用者

10 名

	入院				在宅				就労				その他				計			
	継続A		継続B		継続A		継続B		継続A		継続B		継続A		継続B		継続A		継続B	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
性別																				
年代別																				
10																	0	0	0	0
20					1		1										1	0	1	0
30					2			1									2	0	0	1
40																	0	0	0	0
50							2										0	0	2	0
60							1										0	0	1	0
70																	0	0	0	0
計	0	0	0	0	3	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4	1

(2) 退所者の状況

①利用後の状況

	入院				在宅				就労				その他				計			
	継続A		継続B		継続A		継続B		継続A		継続B		継続A		継続B		継続A		継続B	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
性別																				
年代別																				
10																	0	0	0	0
20					1		1										1	0	1	0
30					1												1	0	0	0
40							1				2						0	0	3	0
50					1												1	0	0	0
60																	0	0	0	0
70																	0	0	0	0
計	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	4	0

市町村別登録者数

市町村名	継続A		継続B		計	割合	備考
	男	女	男	女			
藤岡市	3		8	1	12	55%	
高崎市	3		5	1	9	41%	
甘楽町					0	0%	
富岡市					0	0%	
安中市			1		1	5%	
前橋市					0	0%	
					0	0%	
計	6	0	14	2	22	100%	

年齢別

年代	継続A		継続B		計	割合	備考
	男	女	男	女			
10					0	0%	
20	2		2		4	18%	
30	2		3	2	1	5%	
40			2		2	9%	
50	1		5		6	27%	
60	1		1		2	9%	
70			1		1	5%	
計	6	0	14	2	22	100%	

診断別

診断名	継続A		継続B		計	割合	備考
	男	女	男	女			
統合失調症	1		5		6	27%	
気分障害	2		2	1	5	23%	
適応障害					0	0%	
摂食障害				1	1	5%	
高次脳機能障害			2		2	9%	
人格障害					0	0%	
発達障害	1				1	5%	
知的障害	2		3		5	23%	
その他			2		2	9%	
計	6	0	14	2	22	100%	

2. 活動の状況（行事・レク等）

月	活動内容	日時	活動場所	参加者
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
1				
2				
3				

3. 職員研修

研 修 名	研修場所	参加者名
新人研修（社会福祉法人明済会法人概要）	マザーリーフ（動画視聴）	小暮、堀越、新井、佐藤、折茂
相談支援従事者初任者研修	マザーリーフ（動画視聴）	堀越
接遇研修	マザーリーフ（動画視聴）	小暮、堀越、新井、佐藤、武藤美
ナスの栽培に関する講習	JAたのふじ 南部カントリー	折茂
食中毒、熱中症講習	マザーリーフ多目的室	小暮、堀越、A型B型利用者
福祉事業所の為の感染対策マニュアル	マザーリーフ（動画視聴）	小暮、堀越、武藤美、新井、佐藤
防災訓練	マザーリーフ多目的室 公民館	小暮、堀越、新井
エルダーメンター	マザーリーフ	堀越
障害福祉サービス事業所説明会	マザーリーフ（動画視聴）	武藤、堀越
農業事故防止と注意点について	マザーリーフ	武藤、折茂、A型利用者
医療観察法について	マザーリーフ（動画視聴）	武藤、堀越
虐待防止法について	マザーリーフ（動画視聴）	小暮、堀越、新井、佐藤、武藤
法人内研修 基本的な疾患およびメンタル疾患の理解	マザーリーフ（動画視聴）	小暮、堀越、折茂、新井、櫻井、武藤真、武藤

	A型平均	B型平均
4月	835	200
5月	835	194
6月	835	197
7月	835	196
8月	835	195
9月	835	195
10月	865	194
11月	865	198
12月	865	209
1月	865	225
2月	865	221
3月	965	222
平均	850	203

5. 評価・課題と展望

【評価】

加工作業の種類も増え、より一層利用者に向けた作業の振り分けや、売上向上に向けて邁進している。
利用者の作業範囲が向上している。

【課題と展望】

◎利用率について：令和4年4月からA型10名を廃止し、B型20名の定員に変更している。パンフレットを新しくし、送迎場所を増やす等して利用者増に繋げていく予定。相談支援事業所に営業に行ってるが、利用者の紹介は少ない。また現員の利用者は一般就労に移行している方もいるため利用者数は伸び悩んでいる。屋外の農作業の他、農作業加工をする部門を作り、作業の選択の幅を広げていく。
コロナウィルス感染症の影響を見ながら、レクリエーションやミーティングなどを再開し、利用者が来所しやすい施設を目指す。

◎一般就労への移行について：

室内作業や農業のスキルが向上する事により一般就労への期待が高まっている。ハローワークの同行や、藤岡の就業・生活支援センター等と連携して一般就労を希望する方の支援していく。

◎ヒヤリハット・事故防止：

・施設外先（日乃屋カー）で、お皿を割ってしまったが利用者に、ケガはなかった。

お皿が滑りやすい為、慌てず、ゆっくり洗う様に職員より声掛けをしていく。

・施設外先（ホウトク）で、利用者が運転中にタイヤが脱輪してしまい、溝への落下。ハンドルを脱輪方向へいっぱい切り、バックでアクセルを強く踏みだし脱出した。運転手にはケガは無く、狭い道を通る時には他の人が誘導する様にする。

・施設外先（ホウトク）で、利用者が野菜の選別の仕方を間違えてしまった。作業の細分化、サイズに応じたバック詰め方法を示した掲示などを適用する必要があった。一人一人が選別内容を理解できるよう、職員より指導していく。

◎職員の資質向上：スタッフミーティングにて意見交換を行い職員同士のスキルアップを目指す。虐待防止研修、身体拘束防止研修など、本部と連携して研修を行って行く。

◎目標工賃達成アップ・・・職員ミーティングを定期的に行い、工賃アップのための目標設定や課題の見直しなどをする。

◎農業作業について・・・ゲリラ豪雨や、定期的な記録的熱波等、異常が続いている。熱中症防止の研修や啓発などが必要。

◎室内作業について・・・夏場、冬場等、窓明け換気等を行いウイルス感染対策を行って行く。

◎感染症防止・・・ソーシャルディスタンスの保持や、アルコール消毒など基本的な感染対策を継続していく。感染症防止研修を行う。今後は送迎方法や、対面作業等お互いに感染させない工夫が必要と考えられる。昼食中のアクリル板を設置して改善に努めたい。

令和3年度 実績報告書(案)

施設名 グループホーム 波志江

定員

10 名

1.利用者の状況
(登録者の状況)

月	初日の登録者数		新規		退所者		月末の登録者数		備 考
	男	女	男	女	男子	女子	男子	女子	
4	5	5					5	5	
5	5	5					5	5	
6	5	5					5	5	
7	5	5				2	5	5	
8	6	3	1				6	3	
9	6	3					6	3	
10	6	3					6	3	
11	7	3	1			1	7	3	
12	7	2					7	2	
1	7	2			1		7	2	
2	7	2	1				7	2	
3	7	2					7	2	

(1)新規利用者の状況

①利用前の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20											
30							3		3		
40											
50											
60											
70											
計	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	

(2)退所者の状況

①利用後の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	0	1	0	0	0	0	1	2	1	3	
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20											
30								1		1	
40											
50								1		1	
60		1					1		1	1	
70											
計	0	1	0	0	0	0	1	2	1	3	

※()内は女性の人数

(市町村別登録者数)

市町村名	男	女	計	割合	備考
伊勢崎市	3		3	30%	
正村町	1		1	10%	
藤岡市		1	1	10%	
安中市	1		1	10%	
桐生市	1		1	10%	
高崎市		1	1	10%	
富岡市	1		1	10%	
計	7	2	9	90%	

(年齢別)

年代	男	女	計	割合	備考
30	3		3	30%	
40	1	1	2	20%	
60					
60	2	1	3	30%	
70	1		1	10%	
計	7	2	9	90%	

(診断別)

診断名	男	女	計	割合	備考
統合失調症	5	2	7	70%	
精神遅滞					
広汎性発達障害	(1)				
躁鬱病					
知的障害					
摂食障害					
器質性精神障害	1		1	10%	
小脳形成不全	(1)				
多動障害	(1)				
統合失調感情障害	1			10%	
計	7	2	9	90%	

2.活動の状況(行事・レク等)

月	活動内容	活動場所	参加者
4	誕生日会	GH波志江	9名
5	食卓会	GH波志江	8名
6	防災避難訓練、食卓会	波志江町内、GH波志江	9名、9名
7	食卓会	GH波志江	10名
8	食卓会	GH波志江	8名
9	誕生日会、不審者侵入訓練	GH波志江、GH波志江	8名、8名
10	誕生日会	GH波志江	8名
11	食卓会	GH波志江	9名
12	誕生日会、防火避難訓練	GH波志江、波志江町内	9名、6名
1	誕生日会	GH波志江	9名
2	非常災害訓練	GH波志江	6名
3	食卓会	GH波志江	7名

3. 職員研修

研 修 名	研修場所	参加者名
部署内研修(スタッフミーティング)R3年度研修計画について	波志江事務所	櫻井、高田、木田、田部井
部署内研修(スタッフミーティング)「熱中症予防・食中毒」	波志江事務所	櫻井、高田、木田、田部井
部署内研修(スタッフミーティング)「明例会理会」事例検討	波志江事務所	櫻井、高田、木田、田部井、村田
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	櫻井、高田、木田、村田
部署内研修(スタッフミーティング)「摂食・嚥下障害のメカニズム」	波志江事務所	櫻井、高田、木田
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	櫻井、高田、木田、村田
部署内研修(スタッフミーティング)「感染症対策・地震対策」	波志江事務所	櫻井、高田、木田
部署内研修(スタッフミーティング)「応急警話」	波志江事務所	櫻井、村田、木田
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	櫻井、田部井、木田
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	櫻井、高田、木田
部署内研修(スタッフミーティング)「生活習慣病」	波志江事務所	櫻井、高田、木田
法人内研修「接遇」「新型コロナウイルス感染症対策」動画	波志江事務所	櫻井、高田、木田
法人内研修「苦情対応」動画	波志江事務所	櫻井、高田、木田
法人内研修「医療観察」動画	波志江事務所	櫻井、高田
法人内研修「虐待」「成年後見」動画	波志江事務所	櫻井、木田
法人内研修「統合失調症」「自閉症」動画	波志江事務所	櫻井、木田

4. 課題と展望

良かった点

- ・入居者の転倒時に迅速に対応することができた。居室内で転倒していることに気づけていたこと、15時に決まってお茶の時間を設けていたことが早い発見に繋がった。
- ・新しく入居してきた方への対応に慣れ、スムーズに受け入れができています。
- ・夕食時に味噌汁を作ることが継続できている。
- ・自分でできることを探して自主的に行う入居者がでてきている。(GH内のこと)
- ・コロナ禍の中で、マスク、消毒等の感染対策を継続して行うことができています。買物への外出も必要最低限で我慢の生活が続いているが、上手く工夫して買うことができています。

課題・展望

- ・掃除当番や食事当番、他の当番をできる人が限られてきていて、負担が増えてしまっている。負担にならないよう職員が行うようにはしているが、当番ができる人からの不満が出るようになってきている。
- ・居室が2階のため、足腰の衰えが大きく影響してくる。また、安全面も考えると階段移動の付き添いが必要な入居者が今後増えてくる可能性が高い。
- ・入居者一人の不満が他入居者の不満へも繋がってしまうため、距離をとる工夫や声かけが必要。(コロナ前は活動に出たりして距離がとれていたが今は難しい)
- ・浴室が狭く、入浴支援時に支援が困難なことがある。
- ・介助が必要な入居者に対して、介助方法の知識のなさが支援不足に繋がらないよう学んでいく必要がある。

令和3年度 実績報告書(案)

施設名 グループホーム
メゾン・グレコ

定員

6 名

1.利用者の状況
(登録者の状況)

月	初日の登録者数		新規利用者		退所者		月末の登録者数		備 考
	男	女	男	女	男子	女子	男子	女子	
4	6						6		
5	6						6		
6	6						6		
7	6						6		
8	6						6		
9	6						6		
10	6						6		
11	6						6		
12	6						6		
1	6						6		
2	6						6		
3	6						6		
割合							100%		

(1)新規利用者の状況

①利用前の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20											
30											
40											
50											
60											
計											

(2)退所者の状況

①利用後の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20											
30											
40											
50											
60											
70											
計											

※()内は女性の人数

(ii)町村別登録者数

市町村名	男	女	計	割合	備考
伊勢崎市	2		2		
前橋市	1		1		
高崎市	1		1		
玉村町	2		2		
計	6		6		

(年齢別)

年代	男	女	計	割合	備考
30	1		1		
40	2		2		
50	3		3		
計	6		6		

(診断別)

診断名	男	女	計	割合	備考
統合失調症	4		4		
躁鬱病	1		1		
広汎性発達障害	1		1		
その他					
計	6		6		

2.活動の状況(行事・レク等)

月	活動内容	活動場所	参加者
4			
5			
6	防災避難訓練	グレコ、末広町内	6名
7			
8			
9			
10	不審者侵入訓練	GIグレコ	5名
11	買物ツアー	伊勢崎市内	1名
12	避難訓練	GHグレコ	4名
1			
2	非常災害訓練	GIグレコ	5名
3			

3. 職員研修

研 修 名	研修場所	参加者名
部署内研修(スタッフミーティング) R3年度研修計画について	波志江事務所	高橋
部署内研修(スタッフミーティング)「熱中症予防・食中毒」	波志江事務所	高橋
部署内研修(スタッフミーティング)「明済会理念」「事例検討」	波志江事務所	高橋
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	高橋
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	高橋
部署内研修(スタッフミーティング)「感染症対策・地震対策」	波志江事務所	高橋
部署内研修(スタッフミーティング)「応急講習」	波志江事務所	高橋
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	高橋
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	高橋
部署内研修(スタッフミーティング)「生活習慣病」	波志江事務所	高橋
法人内研修「接遇」「新型コロナウイルス感染症対策」動画	波志江事務所	高橋
法人内研修「苦情対応」動画	波志江事務所	高橋
法人内研修「医療観察」動画	波志江事務所	高橋
法人内研修「虐待」「成年後見」動画	波志江事務所	高橋
法人内研修「統合失調症」「自閉症」動画	波志江事務所	高橋

4.課題と展望

良かった点

- ・GHでのトラブルはなく過ごすことができた。(適度な距離感、気になる事は職員へ相談できていた)
- ・入居者それぞれのペースで生活を送る事ができていた。(コロナ禍で対応が変わる中、順応し生活することができていた。通所も無理せず継続できていた。)

課題・展望

- ・肥満傾向の方が多いため、散歩や室内での運動を促していく。
- ・現在の生活様式での楽しみを見つけていく。
- ・外出が減り、GHにこもることが多く、気分が沈むこともあるため、少しでも上向きな気持ちになるよう支援を工夫していく。

令和3年度 実績報告書(案)

施設名 グループホーム
つつみ

定員

4 名

1.利用者の状況

(登録者の状況)

月	初日の登録者数		新規利用者		退所者		月末の登録者数		備 考
	男	女	男	女	男子	女子	男子	女子	
4	3						3		
5	3						3		
6	3						3		
7	3						3		
8	3						3		
9	3						3		
10	3						3		
11	3						3		
12	3						3		
1	3						3		
2	3		1				4		
3	4						4		
割合							100%		

(1)新規利用者の状況

①利用前の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
	1								1		
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20											
30	1								1		
40											
50											
60											
計	1								1		

(2)退所者の状況

①利用後の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20											
30											
40											
50											
60											
計											

※()内は女性の人数

(市町村別登録者数)

市町村名	男	女	計	割合	備考
伊勢崎市	3		3	75%	
沼田市	1		1	25%	
計	4		4	100%	

(年齢別)

年代	男	女	計	割合	備考
30	1		1	25%	
40	1		1	25%	
50	2		2	50%	
60					
計	4		4	100%	

(診断別)

診断名	男	女	計	割合	備考
統合失調症	4		4	100%	
広汎性発達障害(精神遅滞)	0		0		
計	4		4	100%	

2.活動の状況(行事・レク等)

月	活動内容	活動場所	参加者
4			
5			
6	防災避難訓練、食事会	つつみー末広公園、GHつつみ	3名、3名
7			
8			
9	食事会、不審者侵入訓練	GIつつみ、GHつつみ	3名、3名
10			
11	食事会	GHつつみ	3名
12	クリスマス会&誕生日会、避難訓練	GHつつみ、GHつつみ	3名、3名
1	食事会	GHつつみ	3名
2	誕生日会、非常災害訓練	GHつつみ、GHつつみ	3名、2名
3	食事会	GHつつみ	4名

3. 職員研修

研 修 名	研修場所	参加者名
部署内研修(スタッフミーティング)R3年度研修計画について	波志江事務所	小林
部署内研修(スタッフミーティング)「熱中症予防・食中毒」	波志江事務所	小林
部署内研修(スタッフミーティング)「明滑会理念」事例検討	波志江事務所	小林
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	小林
部署内研修(スタッフミーティング)「摂食・嚥下障害のメカニズム」	波志江事務所	小林
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	小林
部署内研修(スタッフミーティング)「感染症対策・地震対策」	波志江事務所	小林
部署内研修(スタッフミーティング)「応急講話」	波志江事務所	小林
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	小林
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	小林
部署内研修(スタッフミーティング)「生活習慣病」	波志江事務所	小林
法人内研修「機遇」「新型コロナウイルス感染症対策」動画	波志江事務所	小林
法人内研修「苦情対応」動画	波志江事務所	小林
法人内研修「医療観察」動画	波志江事務所	小林
法人内研修「虐待」「成年後見」動画	波志江事務所	小林
法人内研修「統合失調症」「自閉症」動画	波志江事務所	小林

4.課題と展望

良かった点

- ・感染対策をそれぞれがしっかり行い、感染者が出ずに生活を送ることができた。
- ・不安や心配事はその都度、職員に相談することができた。
- ・GH内でのトラブルを他人事にせず、全体のこととして捉え考えることができた。
- ・入居者間で相手のことを思いやり生活できていた。

課題・展望

- ・入居者同士で距離を上手くとれず、過干渉になっていたり自身の精神的負担になってしまっていた。
- ・新しい生活様式でのそれぞれのストレス解消方法、楽しみや趣味を見つけることができると良い。
- ・新しい入居者を迎え一定の距離を保ちながら対応することができている。(他入居者)
- ・コロナ禍が続き、運動不足になっているため、健康管理に留意する必要がある。

令和3年度 実績報告書(案)

グループホーム

施設名 ナカノ

定員

10 名

1.利用者の状況
(登録者の状況)

月	初月の登録者数		新規利用者		退所者		月末の登録者数		備 考
	男	女	男	女	男子	女子	男子	女子	
4	6	3					6	3	
5	6	3					6	3	
6	6	3					6	3	
7	6	3	1				7	3	
8	7	3					7	3	
9	7	3					7	3	
10	7	3					7	3	
11	7	3					7	3	
12	7	3					7	3	
1	7	3			1		7	3	
2	7	3	1				7	3	
3	7	3					7	3	
割合									

(1)新規利用者の状況

①利用前の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
	1						1		2		
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20											
30	1								1		
40											
50											
60							1		1		
70											
計	1						1		1		

(2)退所者の状況

①利用後の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
							1		1		
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20											
30							1		1		
40											
50											
60											
計							1		1		

※()内は女性の人数

(市町村別登録者数)

市町村名	男	女	計	割合	備考
伊勢崎市	2	1	3	30%	
前橋市	2	1	3	30%	
桐生市	1	1	2	20%	
太田市	1		1	10%	
沼田市	1		1	10%	
計	7	3	10	100%	

(年齢別)

年代	男	女	計	割合	備考
20					
30					
40	1		1	10%	
50	1		1	10%	
60	4	2	6	60%	
70	1	1	2	20%	
計	7	3	10	100%	

(診断別)

診断名	男	女	計	割合	備考
統合失調症	4	3	7	70%	
反応性	1		1	10%	
躁鬱病	2		2	20%	
計	7	3	10	100%	

2. 活動の状況（行事・レク等）

月	活動内容	活動場所	参加者
4			
5	食事会	GHナカノ	10名（体聯合）
6	防災避難訓練、誕生日会	ナカノ、波志江町内	7名、9名
7	歓迎会	GHナカノ	8名
8	誕生日会	GHナカノ	9名
9	不審者侵入訓練	GHナカノ	9名
10	食事会	GHナカノ	10名
11	食事会	GHナカノ	9名
12	誕生日会、防火避難訓練	GHナカノ、GHナカノ	9名、6名
1	誕生日会	GHナカノ	9名
2	誕生日会、非常災害訓練	GHナカノ、GHナカノ	10名、8名
3	誕生日会	GHナカノ	9名

3. 職員研修

研修名	研修場所	参加者名
部署内研修(スタッフミーティング)R3年度研修計画について	波志江事務所	増川、徳廣
部署内研修(スタッフミーティング)「熱中症予防・食中毒」	波志江事務所	増川、徳廣
部署内研修(スタッフミーティング)「明解会理念」事例検討	波志江事務所	榎澤、増川、徳廣、村田
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	増川、徳廣、村田
部署内研修(スタッフミーティング)「摂食・嚥下障害のメカニズム」	波志江事務所	徳廣、榎澤
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	増川、榎澤、村田、徳廣
部署内研修(スタッフミーティング)「感染症対策・地震対策」	波志江事務所	増川、徳廣
部署内研修(スタッフミーティング)「応急講話」	波志江事務所	増川、村田、徳廣
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	増川、徳廣
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	増川、徳廣
部署内研修(スタッフミーティング)「生活習慣病」	波志江事務所	米山
法人内研修「接遇」「新型コロナウイルス感染症対策」動画	波志江事務所	増川、徳廣
法人内研修「苦情対応」動画	波志江事務所	村田
法人内研修「医療観察」動画	波志江事務所	米山
法人内研修「虐待」「成年後見」動画	波志江事務所	米山、村田
法人内研修「統合失調症」「自閉症」動画	波志江事務所	米山

4. 課題と展望

良かった点

- ・新しい入居者を受け入れにあたり、本人、病院職員、GH職員と支援について細かい部分を確認しながら体験を繰り返し、入居に向けて準備することができた。
- ・入居者それぞれが役割を意識して当番表を記入したり、ゴミ捨てや米とぎをしているか確認し、声をかけたり、大変そうな時は自ら交代して行うなどしている。
- ・新しい入居者に対して優しく声をかけてくれたり、過干渉になってもせずに適度な距離をとり接することができている。

課題・展望

- ・高齢化や身体機能の低下により、身体機能面にアプローチが必要なものも出てきているが、職員の技術・知識不足により十分に行えていないことがある。ボータブルトイレ利用など今までの支援とは異なる部分も出てきており、介護福祉の技術や知識を学ぶ場があると良い。(実際に現場実習等で)また、介護サービスの利用も積極的に行う必要がある。
- ・高齢化により一人一人のトイレの利用時間や回数が増えてきて、各階に1ヶ所では足りない。また、ボータブルトイレの洗浄や汚染処理が段々と増えてきており、汚染処理をするスペースがあると良い。
- ・17時以降職員が1名になる時に支援が必要なお客が増えていたり、その日の入居者の調子により支援に時間がかかり、他GHの支援に支障をきたすこと

令和3年度 実績報告書(案)

施設名 グループホーム
波志江2

定員

6 名

1. 利用者の状況
(登録者の状況)

月	初日の登録者数		新規利用者		退所者		月末の登録者数		備 考
	男	女	男	女	男子	女子	男子	女子	
4	5	0					5	0	
5	5	0					5	0	
6	5	0					5	0	
7	5	0					5	0	
8	5	0					5	0	
9	5	0					5	0	
10	5	0			1		5	0	
11	4	0	1				5	0	
12	5	0					5	0	
1	5	0					5	0	
2	5	0					5	0	
3	5	0					5	0	
割合									

(1) 新規利用者の状況

①利用前の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
	1								1		
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
20											
30											
40	1								1		
50											
60											
計	1								1		

(2) 退所者の状況

①利用後の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
							1		1		
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
20											
30							1		1		
40											
50											
60											
70											
計							1		1		

※ () 内は女性の人数

(市町村別登録者数)

市町村名	男	女	計	割合	備考
伊勢崎市	4		4	67.0%	
藤岡市					
太田市	1		1	17.0%	
桐生市					
前橋市					
計	5		5	84.0%	

(年齢別)

年代	男	女	計	割合	備考
30					
40	2		2	34.0%	
50	2		2	34.0%	
60	1		1	17.0%	
70					
	5	0	5	85.0%	

(診断別)

診断名	男	女	計	割合	備考
統合失調症	3		3	51%	
躁鬱病	1		1	17%	
統合失調感情障害	1		1	17%	
計	5		5	85%	

2. 活動の状況 (行事・レク等)

月	活動内容	活動場所	参加者
4			
5	食事会	G H波志江 2	5名
6	避難訓練	G H波志江 2	5名
7			
8			
9	食事会、不審者侵入訓練	G H波志江 2、G H波志江 2	4名、4名
10			
11	買物ツアー	G H波志江 2	2名
12	避難訓練	G H波志江 2	5名
1			
2	非常災害訓練	G H波志江 2	4名
3			

3. 職員研修

研 修 名	研修場所	参加者名
部署内研修(スタッフミーティング) R3年度研修計画について	波志江事務所	笠原
部署内研修(スタッフミーティング)「熱中症予防・食中毒」	波志江事務所	笠原
部署内研修(スタッフミーティング)「明清会理念」「事例検討」	波志江事務所	笠原
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	笠原
部署内研修(スタッフミーティング)「摂食・嚥下障害のメカニズム」	波志江事務所	笠原
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	笠原
部署内研修(スタッフミーティング)「感染症対策・地震対策」	波志江事務所	笠原
部署内研修(スタッフミーティング)「応急処置」	波志江事務所	笠原
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	笠原
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	笠原
部署内研修(スタッフミーティング)「生活習慣病」	波志江事務所	笠原
法人内研修「接遇」「新型コロナウイルス感染症対策」動画	波志江事務所	笠原
法人内研修「苦情対応」動画	波志江事務所	笠原
法人内研修「医療観察」動画	波志江事務所	笠原
法人内研修「虐待」「成年後見」動画	波志江事務所	笠原
法人内研修「統合失調症」「自閉症」動画	波志江事務所	笠原

4. 課題と展望

良かった点

- ・新しい入居者を迎え、受け入れようと話をしたり当番等も無理強ひせずに自分達で協力して行っていた。
- ・新しい入居者の行動について、直接本人に質りたりせず、職員へ相談したりフォローしたりできていた。

課題・展望

- ・新しい入居者を迎え、受け入れる側・入る側共に難しい点があると感じた。新しい入居者へGHや他入居者の良さが伝わらず、もどかしさを感じた。
- ・コロナ禍で自粛継続中の入居者へのセンター活動参加や体力維持の促しと同時に、生活での注意点、買物等の外出や家族との接触等、気をつけることの意識を持ってもらうよう支援していきたい。
- ・迷物や電化製品の老朽化に備えが必要と感じる。

令和3年度 実績報告書(案)

施設名 グループホーム 波志江3

定員

10 名

1.利用者の状況
(登録者の状況)

月	初日の登録者数		新規		退所者		月末の登録者数		備 考
	男	女	男	女	男子	女子	男子	女子	
4	5	4					5	4	
5	6	4			1		6	4	
6	5	4					5	4	
7	5	4					5	4	
8	6	4	1				6	4	
9	6	4					6	4	
10	6	4					6	4	
11	6	4					6	4	
12	6	4					6	4	
1	6	4					6	4	
2	6	4					6	4	
3	6	4					6	4	
割合							100%		

(1)新規利用者の状況

①利用前の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
							1		1		
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20											
30											
40							1		1		
50											
60											
70											
計							1		1		

(2)退所者の状況

①利用後の状況

性別 人数	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
							1		1		
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20							1		1		
30											
40											
50											
60											
計							1		1		

※()内は女性の人数

(市町村別登録者数)

市町村名	男	女	計	割合	備考
伊勢崎市	2	3	5	50%	
前橋市	2		2	20%	
玉村町					
高崎市	1		1	10%	
太田市	1		1	10%	
千代田町		1	1	10%	
計	6	4	10	100%	

(年齢別)

年代	男	女	計	割合	備考
20	1		1	10%	
30					
40	1	1	2	20%	
50	2	1	3	30%	
60	2	2	4	40%	
計	6	4	10	100%	

(診断別)

診断名	男	女	計	割合	備考
統合失調症	6	2	8	80%	
てんかん		1	1	10%	
聴うつ病		1	1	10%	
知的障害		(1)	(1)		
計	6	4	10	100%	

2.活動の状況(行事・レク等)

月	活動内容	活動場所	参加者
4	食卓会	GH波志江3	8名
6	誕生日会	GH波志江3	8名
6	誕生日会、防災避難訓練	GH波志江3、GH波志江3	8名、7名
7	誕生日会	GH波志江3	8名
8	誕生日会	GH波志江3	9名
9	誕生日会	GH波志江3	8名
10	不審者侵入訓練、誕生日会	GH波志江3、GH波志江3	8名、10名
11	誕生日会	GH波志江3	10名
12	クリスマス会、防火避難訓練	GH波志江3、GH波志江3	10名、10名
1	誕生日会	GH波志江3	10名
2	誕生日会、非常災害訓練	GH波志江3、GH波志江3	10名、9名
3	誕生日会	GH波志江3	10名

3.職員研修

研修名	研修場所	参加者名
部署内研修(スタッフミーティング)R3年度研修計画について	波志江事務所	菅野
部署内研修(スタッフミーティング)「熱中症予防・食中毒」	波志江事務所	米山
部署内研修(スタッフミーティング)「明治会理念」「事例検討」	波志江事務所	米山
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	船橋
部署内研修(スタッフミーティング)「摂食・嚥下障害のメカニズム」	波志江事務所	船橋
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	米山
部署内研修(スタッフミーティング)「感染症対策・地震対策」	波志江事務所	船橋
部署内研修(スタッフミーティング)「応急講話」	波志江事務所	米山
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	船橋
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	米山
部署内研修(スタッフミーティング)「生活習慣病」	波志江事務所	浜澤
法人内研修「接遇」「新型コロナウイルス感染症対策」動画	波志江事務所	大沢、菅野、高坂、米山
法人内研修「苦情対応」動画	波志江事務所	大沢、菅野、高坂、浜澤
法人内研修「医療観察」動画	波志江事務所	大沢、菅野、高坂、浜澤
法人内研修「虐待」「成年後見」動画	波志江事務所	大沢、菅野、高坂、浜澤
法人内研修「統合失調症」「自閉症」動画	波志江事務所	大沢、菅野、高坂、浜澤

4.課題と展望

良かった点

- ・入居者の退居や他GHからの入居であったが大きなトラブルなく過ごすことができた。
- ・コロナウイルスワクチンを希望者全員に接種することができた。
- ・転倒の多い方への対応でベッタガードなど利用し、頭部の怪我が減った。

課題・展望

- ・高齢化により、他科受診も増えている。
- ・コロナ対策で外出・外泊に制限がありストレスが続いているため、傾聴・共感が必要。

令和3年度 実績報告書(案)

グループホーム

施設名 こさの

定員

4 名

1.利用者の状況
(登録者の状況)

月	初日の登録者数		新規利用者		退所者		月末の登録者数		備 考
	男	女	男	女	男子	女子	男子	女子	
4	2	2					2	2	
5	2	2					2	2	
6	2	2					2	2	
7	2	2			2		2	2	
8	0	4		2			0	4	
9	0	4					0	4	
10	0	4					0	4	
11	0	4					0	4	
12	0	4					0	4	
1	0	4					0	4	
2	0	4					0	4	
3	0	4					0	4	

(1)新規利用者の状況

①利用前の状況

性別	入院		在宅		就労		法人内別GH その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20											
30								1		1	
40											
50								1		1	
60											
計								2		2	

(2)退所者の状況

①利用後の状況

性別	入院		在宅		就労		法人内別GH その他		計		備考
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20											
30							1		1		
40							1		1		
50											
60											
計							2		2		

※()内は女性の人数

(市町村別登録者数)

市町村名	男	女	計	割合	備考
伊勢崎市		4	4	100%	
太田市					
高崎市					
計		4	4	100%	

(年齢別)

年代	男	女	計	割合	備考
20					
30		1	1	10%	
40					
50		3	3	30%	
60					
計		4	4	40%	

(診断別)

診断名	男	女	計	割合	備考
統合失調症		4	4	100%	
知的障害					
計		4	4	100%	

2.活動の状況(行事・レク等)

月	活動内容	活動場所	参加者
4	食事会	GHこさの	3名
5	食事会	GHこさの	3名
6	食事会、防災避難訓練	GHこさの、GHこさの	3名、3名
7	食事会	GHこさの	3名
8	誕生日会	GHこさの	3名
9	食事会、不審者侵入訓練	GHこさの、GHこさの	3名、3名
10	食事会	GHこさの	4名
11	食事会	GHこさの	4名
12	クリスマス会、避難訓練	GHこさの、GHこさの	4名、4名
1	食事会	GHこさの	4名
2	食事会、非常災害訓練	GHこさの、GHこさの	4名、4名
3	食事会	GHこさの	4名

3.職員研修

研修名	研修場所	参加者名
部署内研修(スタッフミーティング)「熱中症予防・食中毒」	波志江事務所	波澤
部署内研修(スタッフミーティング)「明清会理念」事例検討	波志江事務所	波澤
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	波澤
部署内研修(スタッフミーティング)「損金・悪下魔害のメカニズム」	波志江事務所	波澤
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	波澤
部署内研修(スタッフミーティング)「感染症対策・地震対策」	波志江事務所	波澤
部署内研修(スタッフミーティング)「応急講証」	波志江事務所	波澤
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	波澤
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	波澤
部署内研修(スタッフミーティング)「生活習慣病」	波志江事務所	小林
法人内研修「接遇」「新型コロナウイルス感染症対策」動画	波志江事務所	波澤
法人内研修「苦情対応」動画	波志江事務所	小林
法人内研修「医療観察」動画	波志江事務所	波澤
法人内研修「虐待」「成年後見」動画	波志江事務所	小林
法人内研修「統合失調症」「閉症」動画	波志江事務所	波澤

4.課題と展望

良かった点

- ・継続した感染対策によりコロナウイルス陽性者を出さずに過ごすことができた。
- ・全員ワクチン接種完了した。
- ・入居者間の関係が良好で協力的。

課題・展望

- ・コロナ禍が長期化し、職員に依存的。何ができるかを一緒に考えて支援していく。
- ・食生活の見直しが必要。

令和3年度 実績報告書(案)

施設名 グループホーム リアン上田

定員

10 名

1.利用者の状況
(登録者の状況)

月	初日の登録者数		新規		退所者		月末の登録者数		備 考
	男	女	男	女	男子	女子	男子	女子	
4	7	2					7	2	
5	7	2					7	2	
6	7	2					7	2	
7	7	2					7	2	
8	7	2					7	2	
9	7	2					7	2	
10	7	2					7	2	
11	7	2					7	2	
12	7	2	1				8	2	
1	8	2					8	2	
2	8	2					8	2	
3	8	2					8	2	
割合									

(1)新規利用者の状況

①利用前の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
	1								1		
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20											
30											
40											
50	1								1		
60											
70											
計	1								1		

(2)退所者の状況

①利用後の状況

性別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
人数											
年代別	入院		在宅		就労		その他		計		備考
20											
30											
40											
50											
60											
70											
計											

※()内は女性の人数

(市町村別登録者数)

市町村名	男	女	計	割合	備考
伊勢崎市	6	1	6	60%	
前橋市	1		1	10%	
笠原町					
藤岡市		1	1	10%	
みどり市	2		2	20%	
計	8	2	10	100%	

(年齢別)

年代	男	女	計	割合	備考
20					
30	2		2	20%	
40		1	1	10%	
50	3		3	30%	
60	2		2	20%	
70		1	1	10%	
80	1		1	10%	
計	8	2	10	100%	

(診断別)

診断名	男	女	計	割合	備考
統合失調症	6	2	8	80%	
知的障害	2		2	20%	
自閉症	(1)		(1)		
摂食障害					
広汎性発達障害		(1)	(1)		
計	8	2	10	100%	

2.活動の状況(行事・レク等)

月	活動内容	活動場所	参加者
4	誕生日会	G Hリアン上田	9名
5	食事会	G Hリアン上田	8名
6	誕生日会、避難訓練	G Hリアン上田、G Hリアン上田	9名、6名
7	誕生日会	G Hリアン上田	9名
8	誕生日会	G Hリアン上田	9名
9	誕生日会	G Hリアン上田	9名
10	不審者侵入訓練、誕生日会	G Hリアン上田、G Hリアン上田	5名、8名
11	食事会	G Hリアン上田	7名
12	クリスマス会、防火避難訓練	G Hリアン上田、G Hリアン上田	10名、7名
1	誕生日会	G Hリアン上田	9名
2	誕生日会、非常災害訓練	G Hリアン上田、G Hリアン上田	9名、7名
3	食事会	G Hリアン上田	9名

3. 職員研修

研 修 名	研修場所	参加者名
部署内研修(スタッフミーティング)R3年度研修計画について	波志江事務所	小保方
部署内研修(スタッフミーティング)「熱中症予防・食中毒」	波志江事務所	小保方
部署内研修(スタッフミーティング)「説明会理念」「事例検討」	波志江事務所	小保方
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	小保方、島津
部署内研修(スタッフミーティング)「摂食・嚥下障害のメカニズム」	波志江事務所	吉田
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	吉田
部署内研修(スタッフミーティング)「感染症対策・地震対策」	波志江事務所	小保方
部署内研修(スタッフミーティング)「緊急連絡」	波志江事務所	小保方
部署内研修(スタッフミーティング)「事例検討」	波志江事務所	横山
部署内研修(スタッフミーティング)「介護研修」	波志江事務所	小保方
部署内研修(スタッフミーティング)「生活習慣病」	波志江事務所	小保方
法人内研修「接遇」「新型コロナウイルス感染症対策」動画	波志江事務所	吉田、横山、島津、小保方
法人内研修「苦情対応」動画	波志江事務所	小保方、吉田、徳廣、島津
法人内研修「医療観察」動画	波志江事務所	小保方、吉田、徳廣、島津
法人内研修「虐待」「成年後見」動画	波志江事務所	小保方、吉田、徳廣、島津
法人内研修「統合失調症」「自閉症」動画	波志江事務所	小保方、吉田、徳廣、島津

4.課題と展望

良い点

- ・入退院を繰り返していた入居者が、目標を持ち水分摂取コントロールでき、入院せずGHで過ごすことができた。
- ・コロナ禍の中、度直なる規制に対し、ミーティングや声かけにより柔軟に対応することができた。
- ・新型コロナワクチン接種を入居者全員接種することができた。
- ・感染予防のため夕食前に嚥下体操を続けている。
- ・毎月の誕生日会では山前や持ち寄りメニュー等を利用し、入居者の楽しみにしていた。

課題

- ・コロナ禍での新しい生活を通し、ストレスにより調子を崩さないよう入居者の様子を確認していく。
- ・生活習慣病や身体的不定愁訴に対する対応・予防。

展望

- ・新しい生活様式でのストレス軽減を図る。
- ・周りの中で本人の意思決定により意欲向上できるよう支援していく。